平成24年度新規事業予算編成状況

番号	課　　名	事 業 名	事業の活動内容	事業に期待する成果	H24年度予算要求額（単位：千円）	事業変更内容	H24年度予算査定後事業費（単位：千円）	【財源内訳】			
								一般財源	国県支出金	地方債	その他
1	政策秘書室	自治基本条例策定検討事業	住民を主体とした検討組織を設置し、自治基本条例制定についての検討を進めるとともに、広く住民に内容を周知する活動を行う。 【想定される活動】 ・住民主体の検討組織による会議 ・住民ワークショップ ・自治基本条例シンポジウム ・地域別説明会	自治の基本的な理念や自治体のあり方・枠組みを規定する自治基本条例の制定を検討する中で、これからの町のあり方や進むべき道について考え、自治の発展につながることが期待される。 また、多くの住民が関わる中で制定された条例であれば、まちづくりにおける住民の権利が保障され、自治を守り育てることが明確となり、住民参加と情報共有の原則に基づいたまちづくりも期待される。	796	検討スケジュールを見直し、実施する。	612	612			
2	こども支援課	学童保育室建設事業	常に定員が上回っていることもあり、県の放課後児童クラブ運営基準に照らし、定員70名の大型保育施設を対象として定員４０名規模の学童に分割することが必要であり、建設工事を実施する。 【対象学童保育室】 平成24年度　藤久保小学校学童保育室 平成25年度　三芳小学校学童保育室 平成26年度　唐沢小学校学童保育室	放課後児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日に適切な遊びや第2の家庭として生活の場を提供する。	17,166	平成24年度、藤久保第2学童保育室（仮称）の建設は、校舎内に設置が決定した。	6,000	2,000	4,000		
3	環境産業課	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	住宅用太陽光発電システム1式当たり5万円とし、1世帯当たり1式を限度とする。	太陽エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出量の削減を図ることを目的とする。	1,500	想定する対象者を減少して実施する。	1,000	1,000			
4	地域振興課	地域防災初期行動モデル事業 （避難所開設等訓練）	平成24年度は特定の小学校避難エリアをモデル地区として設定し、対象行政区（複数）を中心に自主防災組織等の地域機関と町災害対策本部（救助部・藤久保担当）、学校教職員が連携して、避難誘導・避難所開設等の訓練を実施する。	（仮称）地域防災初期行動マニュアルの策定を進める一方で、モデル地区の避難エリアを設定して地域共助の実践訓練を行うことで、町と地域の非常時の連携をシミュレーションでき、地域と職員が情報を共有しながら、防災意識の向上が図れる。	500	内容を変更せずに実施する。	350	350			
5	こども支援課	待機児童解消に向けた子育て支援センター活用事業	現在、公設・民間併せて認可保育所が５か所で運営されているが、待機児童は解消されていない。２５年度に認可保育所が開園予定であるが２４年度の時限付きで子育て支援センターで受入を実施する。 【平成２４年度限定事業】 保育：週５日（延長有り７時から１９時） 年齢：１歳から５歳 定員：１５名のうち特定保育１０名	平成２５年度に民間保育所が開設される予定であることから、平成２４年度については保育所の入所待ち児童の受け入れ枠拡大を図り、保育所の入所待機児童を解消する。	14,400	【平成２４年度限定事業】 保育：週3日（延長有17時から１９時） 年齢：１歳から５歳 定員：１５名のうち特定保育8名	176	57			119
6	環境産業課	農商工連携6次産業化チャレンジ支援事業	町の農産物を活用した加工品の研究開発や新たなビジネスの展開など農業、商業及び工業が連携した６次産業化の取り組みについて一般公募し、審査を行ったうえで、採択する課題を決定し、チャレンジ事業の実施に必要な経費の一部を補助する。	農業者の生産性向上や地域の活性化を図る。	1,000	内容を変更せずに実施する。	1,000	1,000			
7	健康増進課	胃がんリスク（ＡＢＣ）検診事業	平成２２年度の胃がん検診受診率が3.9%と低く、胃の健康度を調べる検診方法の導入により、胃がん検診の効果的な受診ができるよう正しい健康意識の普及啓発をはかり、住民の健康保持及び増進を図ることを目的とする。 ①対象者　当該年度において、４０歳から５歳きざみの節目に該当し、希望する町民の方 ②実施方法　三芳町・富士見市・ふじみ野市の指定された医療機関で申請・受診	この検査は、ピロリ菌（血液中のピロリ抗体を測定）を調べる検査と萎縮性胃炎の有無を調べる検査（血液中のペプシノゲンを測定）を組み合わせて胃がんになりやすいか否かのリスク（危険度）分類をする検診を行う。血液検査をすることで胃の健康度が判明し、胃がんの早期発見及びがん検診の正しい健康意識の普及啓発を図る。	5,116	財政状況により予算額を減少して実施する。	3,641	3,641			
8	政策秘書室	三芳町イメージアップ事業	町をアピールすることができる「グッズ」がない現状を踏まえ、みらいくんとのぞみちゃんのストラップ販売を行い、町の魅力発信のきっかけづくりとする。	三芳町を身近に感じ、愛着をもてるようにする。お土産や協力のお礼等としても使用できるほか、そのものを持ち歩いてもらうことで町のPRに繋がること（口コミ等）も期待される。	638	ストラップの単価を縮小して実施する。	263	263			

番号	課　　名	事 業 名	事業の活動内容	事業に期待する成果	H24年度予算要求額（単位：千円）	事業変更内容	H24年度予算査定後事業費（単位：千円）	【財源内訳】			
								一般財源	国県支出金	地方債	その他
9	都市計画課	自然の森・総合スポーツ公園設置検討事業	自然公園の整備や総合スポーツ公園の設置について検討を進める。 【主な検討事項】 ・新設公園の開設 ・既存の雑木林を活用した自然公園整備 ・生態系に配慮した自然公園整備 ・遊歩道等の整備 ・スポーツ公園内に広域的なレクリエーション施設の整備	森林を活用した自然観察や森林浴を行うなど、住民が安全で安心して利用できる安らぎの場の提供を実現する。	87	会議回数を増加して実施する。	360	360			
10	都市計画課	樹木萌芽更新推進事業	既存の樹林を保護・保全するために、樹木の伐採により萌芽を促す。 【平成24年度】 ・中ノ久保ふれあいの森	樹木の伐採後、残された根株からの生育から森林の再生を図るため萌芽更新を促し、樹木の保護・保全を図り、住民が自然を親しむ場となる。	2,478	規模を縮小して実施する。	536	436	100		
11	都市計画課	1人1本植樹推進事業	緑化を推進するため、苗木を配布し、庭やベランダへの植え込みを促進する。	住民参加による緑化活動により、潤いのある緑のまちづくりを推進する。	392	上富ケヤキ補植推進事業に変更	－				
12	社会教育課	サツマイモ大学運営事業	１．サツマイモ大学講座…町民と共に、サツマイモの歴史・文化、そして未来に向かうサツマイモを大学講座として学ぶ。 ２．サツマイモ大学祭…サツマイモ大学の講座の一環として、三富新田に移築復元した旧島田家住宅を中心にしたサツマイモ大学祭を開催。伝統的なサツマイモ料理から現代のサツマイモを使った食品や料理、サツマイモの特産地である三芳町に伝わる伝統的なサツマイモ料理や、江戸時代に著された『芋百珍』に登場する料理を再現・販売する「サツマイモ料理コーナー」や、サツマイモの歴史・種類・効能などを知る「サツマイモクイズ」、「サツマイモグッズ販売」などを行う。 ３．巡回サツマイモ資料館…サツマイモの歴史やサツマイモ文化と三芳殊に三富新田の農業などのパネル展示。公民館や資料館、農業センター、役場1階ロビーなどを巡回する。	「サツマイモのまち三芳」として町内外の住民に広く認知され、その歴史や文化について理解を深め、郷土三芳町の光を発信し認識してもらうことが当事業の目的である。この事業を推進することで、三芳のサツマイモのブランド力向上や、自分の住む町に誇りを持つ町民の育成、ひいては三芳町のイメージアップという効果が期待される。	720	内容を変更せずに実施する。	720	720			
13	都市計画課	上富ケヤキ補植推進事業	緑地の保全を推進するため、（道路の愛称）上富ケヤキ並木通りの緑地帯等にケヤキの苗木を補植し、良好な道路緑地を促進する。	緑化の推進により、心の安らぎと潤いのある景観と安全かつ快適な道路交通環境と良好な道路景観の形成が期待される。	－	上記「１人１本植樹推進事業」を変更して実施する。	3,000	1,500	1,500		
14	環境産業課	みよし野菜ブランド化推進支援事業	中核的担い手農家の意欲ある若い農業者により「みよし野菜ブランド化推進研究会議」を設置し、将来の「みよし野菜のブランド化」をプランニングし、実践する事業に対して支援を行う。	産業構造の変化や農産物の価格低迷などによる農業者の減少や後継者不足など農業を取り巻く環境を改善し、首都圏近郊という立地条件を生かした都市型農業への転換と産地としての販売力の強化されることが期待される。	－	新たな農業支援策として、実施する。	500	500			